

高浜原発再稼働を許さない！

玄海原発再稼働を止めよう！

◇高浜原発稼働停止！フクシ

マ事故は今も続いている！

1月29日、関西電力は高浜原発3号機を再稼働させました。高浜3号機は玄海原発3号機と



同じMOX燃料を使うプルサーマル発電の原発です。高浜3号機の燃料157体には、使用済み燃料から取り出したプルトニウムとウランを混ぜたウラン・プルトニウム混合酸化物（MOX）燃料が24体含まれています。そもそもウラン燃料を燃やすために設計された原子炉でMOX燃料を燃料として使うことは事故の危険を増やすことになる多くの専門家が指摘していますが、その危険なプルサーマル発電の原発を再稼働させたのです！しかも、重大事故の際に30km圏内住民の避難先として指定されている福井、兵庫、徳島、京都の56市町のうち、受け入れ計画を策定したのは7市で、全体の1割に過ぎません。川内原発同様、ここでもまた実効性ある避難計画はつくられぬまま、住民・国民の安全や生命を無視し、犠牲にした再稼働が強行されました。関電、政府、原子力規制委員会に抗議の声を集中させ、高浜原発の稼働停止を求めましょう！

- | | |
|----------------|-------|
| ○ 福島県の「震災関連死」 | 2007人 |
| ○ 福島県の「震災関連自殺」 | 80人 |

みなさん！

原子力災害対策特別措置法に基づく「原子力緊急事態宣言」は未だ発動されたままであり、解除されていません。事故は終息しておらず、今も続いており、その被害も増え続けています。

復興庁によると、東日本大震災と福島第一原発事故を原因として体調悪化などで亡くなった「震災関連死」は、岩手県では455人、宮城県では918人です。福島県の2007人という死亡数は、極めて突出しています（2015年9月末現在）。そして、福島県内外に避難を余儀なくされている方々が、今なお10万1千人にも上っています。

また、内閣府自殺対策推進室が2015年12月22日に公表したまとめによると、1都2府6

県の「震災関連自殺者」は158人です（2011年6月から2015年11月までの集計）。そのうち福島県内の自殺者数は80人と半数を占め、ここもまた突出しています。原発事故から間もなく5年を迎えようとする今も、福島県内での自殺者数は減っていないのです。2015年は1月から11月末までで19人が自殺し、14年1年間の15人を上回っています。原発事故により、多くの人々が仕事や故郷を失いました。地域共同体は破壊され、人間関係も断ち切られました。家族が離散させられ、家庭の崩壊に至ることもありました。福島県の震災関連自殺者数の突出には、そのような背景があるということを見なければなりません。

にもかかわらず政府や電力会社は、世論を無視し、原発再稼働を強引に押し進め、原発輸出を推進しています。事故原因は何ひとつ究明されず、政府や電力会社の誰一人として事故の責任を問われていません。私たちはこのような中での原発回帰を決して許してはなりません。原発を、発電システムの選択肢の一つとして考えてはなりません。

玄海原発再稼働 STOP！ 天神街宣やろうぜ！

玄海原発再稼働を止めるために、私たちは以下の街頭宣伝活動に取り組むことにしました。みなさん、是非ご参加ください。

と き：2月20日（土）、28日（日） 午後2時～3時

と ころ：福岡市天神コア前

※マイクアピールと署名活動、ビラ配りを行います。予定の場所が使用できない場合は、近隣の場所で街宣します。

〈主催：戦争と原発のない社会をめざす福岡市民の会〉

◇九電の免震重要棟建設計画撤回を弾劾！

福島原発事故の時、事故対応を現場近くで指示できたのは、免震構造の建物（緊急時対策所）があったからです。東電社長も「あれがなかったらと思うとぞっとする」と国会で証言しています。

九電は川内原発再稼働申請にあたって免震重要棟の建設計画を原子力規制委員会に出していました。ところが昨年12月それを撤回し、耐震構造を持つ支援棟（医務室や宿泊室など）を設置することで代えるとなりました。玄海原発においても免震重要棟について「白紙」とし、建設の是非を含めて再検討するとしています。九電は原子力規制委員会に提出した「玄海原子力発電所3、4号炉緊急時対策所についての補足説明資料」で、「更なる安全性、信頼性向上の観点から」2015年度を目途に完成設置すると言っていたにもかかわらず、それを反故にしたのです。

それに対して、原子力規制委員会の田中俊一委員長は「免震棟を前提に許可を得ているので、基本的に守ってもらわないと」（1月6日）と言い、山口祥義佐賀県知事もまた「九電さんがみずから安全性の向上のために免震重要棟をつくらねばならぬわけだから、..やると言ったものはやっぱりやるべきだ」（1月20日）と、九電の方針転換に不快感を示しつつ、既定方針通りの免震重要棟の建設を求めています。

いったん再稼働すれば約束を反故にするという企業体質を、私たちは徹底して弾劾します。そして、以下のことを要求します。みなさん、私たちの命や健康、生活や未来を守るために、ともに声を挙げ、ともに行動しましょう！

☆九電は川内原発の稼働を停止せよ！

☆玄海原発3、4号機の再稼働審査申請をただちに取り下げよ！

戦争と原発のない社会をめざす福岡市民の会

Tel: 080-8353-5792 (工藤) E-mail: no_war_no_genpatsu_fukuoka@yahoo.co.jp

<http://no-war-no-genpatsu-fukuoka.jimdo.com/>